

I. 次の楽曲はシューベルト作曲、弦楽四重奏曲op. 161 第1楽章の一部分です。下記の問いに答えなさい。

1. ①～⑧の音程を答えなさい。また、①～④は転回音程になるように、下に書かれている音の上に全音符を書きなさい。なお、転回音程について、複音程は単音程に直して答えること。(3点×8=24点)
(音程)

①	長7度	②	短3度	③	増6度	④	減4度
⑤	増1度	⑥	完全8度	⑦	短2度	⑧	完全12度 (octと完全5度)

(転回音程) (3点×4=12点)

2. 次の(a) (b) で示される音階を、調号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。(2点×2=4点)

(a) ⑦を下属音とする長音階

(b) ①を第VI音とする和声短音階

3. 次の(c) (d) で示される音階を、調号を用いずに右の五線に主音から上行形で書きなさい。
旋律短音階は上行形と下行形の両方を書くこと。(3点×2=6点)

(c) ⑦を属音とする旋律短音階

(d) ⑤を導音とする長調の第III音を
主音とする和声短音階

II. 次の楽曲について、下記の問いに答えなさい。

1. (1)～(5)の和音について、種類と転回形を答えなさい。(2点×10=20点)

- (1) 種類 属七の和音 転回形 第3転回形 (2) 種類 減三和音 転回形 第1転回形
 (3) 種類 短三和音 転回形 第2転回形 (4) 種類 減七の和音 転回形 基本形
 (5) 種類 長三和音 転回形 基本形

2. 次の文中の [] に調名を、《 》には関係調の名称を、() には和音の種類を書き入れなさい。
(a～c: 2点×4=8点, d: 1点×7=7点)

- a. (1)の所属する長調の《 属調 》は長調である。
 b. (2)をII度の和音とする調の平行調は [変ニ長調] である
 c. (5)を主音とする調の調号を下の五線に書きなさい。また、その調を同主調とする調の平行調は [変ニ長調] である。

d. 和声短音階の音階上にできる三和音の種類をそれぞれ答えなさい。

- I { 短三和音 } II { 減三和音 } III { 増三和音 } IV { 短三和音 }
 V { 長三和音 } VI { 長三和音 } VII { 減三和音 }

III. 次の楽語の意味を右から1つ選び、その番号を書きなさい。(1点×7=7点)

tempo giusto	5
sostenuto	14
cantabile	3
Allegretto	11
subito	2
dolente	13
pesante	7

- 意味: 1. 気まぐれに 8. 自由な速度で
 2. すぐに 9. なめらかに
 3. 歌うように 10. 非常に
 4. おどけて 11. Allegroよりやや遅く
 5. 正確な速さで 12. 神秘的に
 6. Allegroより速く 13. 悲し気に
 7. 重々しく 14. 音の長さを十分に保って

IV. 次の旋律ABの調名を答えなさい。また、楽曲Cは転調していきます。(い)～(に)の部分の調名をそれぞれ答えなさい。(2点×6=12点)

A

B

C **Allegro**

(い)

(ろ)

A 変イ長調

B ニ長調

C (い) 本短調 (ろ) 上長調

(は) イ短調 (に) 上短調